

2026年2月3日
国立大学法人東京芸術大学

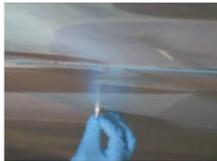
東京藝大×JR東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO “es”」
「《自由》に寄せて-猪熊弦一郎壁画修復関連企画展」開催のお知らせ

《自由》に寄せて



-猪熊弦一郎壁画修復関連企画展

‘On “Freedom” — An Exhibition Related to the Restoration of INOKUMA Genichiro’s Mural Painting —’



2026.2.3(Tue) - 2026.3.8(Sun)

Opening Hours _ 11:00 - 19:00 (last entry 18:45)
Closed _ Mondays / if a public holiday falls on Monday,
the gallery is closed the following day.

CREATIVE HUB UENO “es” では、「《自由》に寄せて-猪熊弦一郎壁画修復関連企画展」を、2026年2月3日（火）から3月8日（日）まで開催いたします。

JR 上野駅中央改札に描かれた大型壁画《自由》（幅約 26m）が 2025 年に修復されました。この壁画は、20 世紀に国際的な活躍をした猪熊弦一郎氏が 1951 年に制作した作品です。

今回の修復は、有限会社修復研究所 21 が実施し、東京芸術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻保存修復油画研究室の修了生が多数参加しました。

この度、本プロジェクト関連企画として、同研究室の出身である山下林造がディレクションする展覧会を開催します。

修復行為を撮影した映像作品、「修復する人を想像する」ことをコンセプトに編集された ZINE など、アーティストを通して一つの保存修復プロジェクトを発信する新たな試みです。

この機会に、ぜひご高覧ください。



<開催概要>

- 展示会名：《自由》に寄せて-猪熊弦一郎壁画修復関連企画展
- 会期：2026年2月3日（火）～2026年3月8日（日）
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 時間：11:00～19:00（最終入場 18:45） 入場料：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO “es” 東京都台東区上野 7-1-1（上野駅浅草口付近）

【このプレスリリースのお問合せ】東京芸術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域

□推薦コメント

かつて、北の玄関口といわれた上野駅。
猪熊弦一郎の『自由に寄せて』は、油絵具で描かれた珍しい壁画で、1951年に制作されました。2023年、JR東日本と東京藝術大学は、包括連携協定を締結し、2025年6月より上野駅の象徴的存在の一つである壁画の修復プロジェクトが進められました。有限会社修復研究所21が中心となり実施され、東京藝術大学大学院美術研究科の保存修復油画研究室の修了生も参加しました。我々が美術館などで見ている歴史的収蔵作品が長く守られているのは、修復活動が一翼を担っているからです。本来、修復の現場や作業風景、道具や材料など見ることは少ないと思われませんが、本展覧会で保存修復への興味や関心、理解を深めていただけることを期待しています。

東京藝術大学 美術学部 絵画科（油画技法・材料）教授 秋本 貴透

□作品ジャンル

映像、ZINE、資料展示

□主な展示作品

「《自由》に寄せて」2025年
映像作家の斎藤玲児が、修復現場の足場に登り、修復の様子を間近で撮影した映像作品。

■出展者プロフィール



企画・ディレクション：山下林造

2020年 東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 保存修復油画研究室 修了。

個展：2019年「呼吸する足の裏と目の前」3F/三階

グループ展：2024年「PALALLELE e.g.4」山下林造、渡辺千明 HANSOTO

研究発表：2020年「現代美術の保存修復-小林正人《海水浴》を巡って-」

山下林造、土屋裕子、文化財保存修復学会第42回大会

2024年 東京藝術大学 未来創造継承センター共同企画「中西

夏之の記録」東京藝術大学アーツアンドサイエンスラボ 1F

監修：鳥海秀実（東京藝術大学 保存修復油画研究室 特任教授）

田中智恵子（修復研究所21・同研究室学術インストラクター）

映像撮影・編集：斎藤玲児

ZINE デザイン：田岡美紗子